

# BELLUNA

証券コード：9997

## INTERIM BUSINESS REPORT



お客様の衣食住遊を豊かにする

株式会社ベルーナ

第47期

中間株主通信

2022年4月1日～2022年9月30日





通信販売業界においては一時的な特需の反動減があるものの、中期では幅広い顧客層からの通販利用拡大を見込む。実店舗、ホテルの顧客数が回復傾向。グルメ事業、呉服関連事業、ホテル事業にて売上高増を実現。

代表取締役社長 安野 清

このたびの新型コロナウイルスの感染拡大により、身体  
の健康、そして日々の暮らしに影響を受けておられる全て  
の皆様へ、心よりお見舞いを申し上げます。

■ 当社グループを取り巻く市場環境

日本経済は、新型コロナウイルスの国内感染が縮小し、  
行動制限の緩和により消費活動が回復傾向となる一方、急  
激な円安の進行やロシア・ウクライナ情勢に起因する資源  
価格の高騰により物価上昇が進行しており、先行きは不透  
明な状況にあります。国内の個人消費につきましては、3  
月下旬にまん延防止等重点措置が解除され、外出需要に伴  
う消費活動が活発化し、回復傾向となりました。通信販売  
業界におきましては、新型コロナウイルス感染拡大による  
外出自粛や接触回避の影響がやや弱まったものの、幅広い  
顧客層からの通販利用需要の拡大が継続しております。

■ 当期の概況

当第2四半期連結累計期間の売上高は987.8億円(前年  
同期比6.6%減)となり、営業利益は36.9億円(同22.4%  
減)となりました。経常利益は為替差益が前年同期より  
拡大したことなどにより46.7億円(同8.4%減)となりま  
した。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は28.5億  
円(同11.2%減)となりました。

財政状況に関しまして、負債は前期末比で30.2億円増加  
し、1,381.6億円となりました。これは主に契約負債が  
12.1億円、長期借入金が84.9億円増加した一方で、短期借  
入金が44.0億円、未払費用が13.8億円減少したことによる  
ものです。一方、総資産は前期末比で66.3億円増加し、  
2,608.1億円となりました。この結果、純資産は、前期末比  
36.1億円増加し、1,226.5億円となりました。この結果、  
自己資本比率は46.7%となりました。

■ 2022年3月期の進捗

当社グループはアパレル・雑貨事業、化粧品健康食品事業、  
グルメ事業、ナース関連事業、データベース活用事業、呉服関  
連事業、プロパティ事業、その他の事業の8セグメントにおい  
て、1つ1つのセグメントを太く強くし、シナジー効果を発揮  
するポートフォリオ経営の成熟に取り組んで参りました。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「総合通販事業」  
としていた報告セグメントの名称を「アパレル・雑貨事業」に  
変更しております。当該セグメントの名称変更によるセグメ  
ント情報に与える影響はありません。

「アパレル・雑貨事業」では、新型コロナウイルス感染拡大  
の影響が一巡し、既存顧客のレスポンスの鈍化傾向が継続す  
る一方で、広告宣伝費を抑制し、収益性確保を優先した事業  
運営を行いました。アパレル店舗においては新型コロナウイ

財務ハイライト(連結)

売上高	987.8億円 (前年同期比6.6%減)
営業利益	36.9億円 (前年同期比22.4%減)
経常利益	46.7億円 (前年同期比8.4%減)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	28.5億円 (前年同期比11.2%減)

ルス感染拡大の影響が弱まり、来店顧客数が回復傾向となり  
ました。この結果、売上高は425.0億円(同9.7%減)となり、  
セグメント損失は0.3億円(前年同期は5.3億円のセグメン  
ト損失)となりました。

「化粧品健康食品事業」では、台湾における新型コロナウイ  
ルス感染拡大の影響による苦戦及び国内におけるネット広告  
規制による新規顧客獲得の苦戦により、減収となりました。  
健康食品通販事業においては、新規顧客獲得を強化した一方  
で既存顧客の売上が減少し、減収となりました。この結果、  
売上高は74.1億円(同8.9%減)となり、セグメント利益は  
5.9億円(同50.3%減)となりました。

「グルメ事業」では、新型コロナウイルス感染拡大の影響が  
一巡し、既存顧客のレスポンスの鈍化傾向が継続する一方で、  
食品事業においてネット広告等による新規顧客獲得を強化  
し、広告宣伝費が増加しました。この結果、売上高は127.1  
億円(同6.7%増)となり、セグメント利益は2.2億円(同  
59.3%減)となりました。

「ナース関連事業」では、第1四半期においてTVCM等の  
積極的な広告宣伝を行った一方で、新型コロナウイルス感染  
拡大の影響が一巡し、前年同期に特需のあったマスクやパ  
ルスオキシメーター等の医療雑貨・消耗品需要が縮小しまし  
た。この結果、売上高は75.9億円(同13.4%減)となり、セ  
グメント利益は1.7億円(同77.4%減)となりました。

1株当たり配当金の推移



「データベース活用事業」では、封入・同送サービスにおい  
て、アパレル・雑貨事業における成長鈍化の影響により減収  
となりました。ファイナンス事業においては新規顧客獲得を  
強化し、広告宣伝費が増加しました。この結果、売上高は  
74.8億円(同0.9%減)となり、セグメント利益は28.4億円  
(同1.6%減)となりました。

「呉服関連事業」では、新型コロナウイルス感染拡大の影響  
が弱まり、来店顧客数が回復傾向となりました。また、(株)さ  
が美、(株)東京ますいわ屋における構造改革が浸透し、収益力が向  
上しました。一方で、第1四半期から第3四半期にかけて受  
注に伴う経費発生が先行する衣裳レンタル事業における受注  
が好調なことから、受注経費が増加しました。この結果、売上  
高は111.4億円(同9.3%増)となり、セグメント損失は1.4  
億円(前年同期は8.3億円のセグメント損失)となりました。

「プロパティ事業」では、ホテル事業において、行政機関に  
よる日本国内における移動制限の影響や外国人の入国規制の  
影響が前年同期と比較し縮小したことに加え、前期に新規  
開業したホテルの稼働率向上により、大幅な増収増益となり  
ました。一方で、第2四半期に予定していた海外不動産の売  
却が第3四半期以降に後ろ倒しとなったことに加え、前年同  
時期には海外不動産の売却があり、大幅な減収減益影響が出  
ております。この結果、売上高は83.7億円(同22.3%減)と  
なり、セグメント利益は3.7億円(同61.8%減)となりました。

アパレル・雑貨事業

- ミセス層中心のカタログ、ネット通販
- モール展開 (RyuRyumall)
- ネット専業通販 (ミン・アイシーネット・丸長・セレクト)
- アパレル店舗 (ペルレーナ)



化粧品健康食品事業

- 化粧品通販 (オージュオ・なちゅライフ)
- 健康食品通販 (リフレ)



グルメ事業

- 食品通販、日本酒通販
- ワイン通販



ナース関連事業

- 看護師向け通販 (ナースリー・アンファミエ)
- 看護師人材紹介 (ナースキャリアネクスト・JOB STUDIO)



データベース活用事業

- 封入・同送サービス (ペルレーナダイレクト)
- 通販代行サービス (BBS)
- 会員向けファイナンス事業 (ペルレーナノーティス)
- 物流3PL事業 (BGL、レーベル)



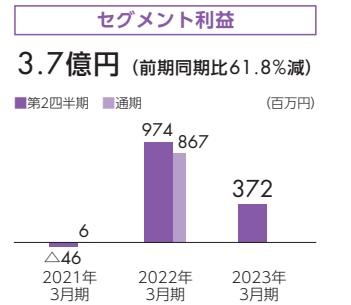
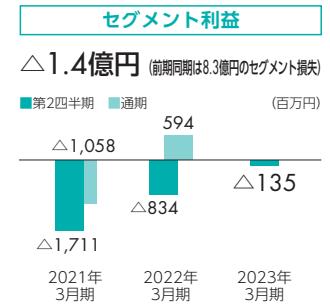
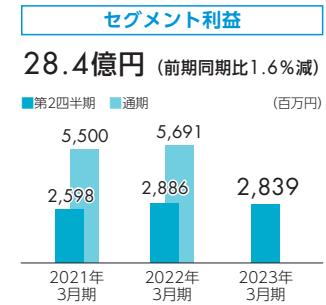
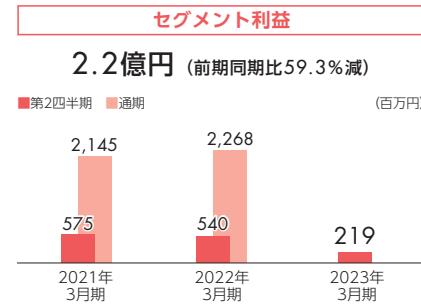
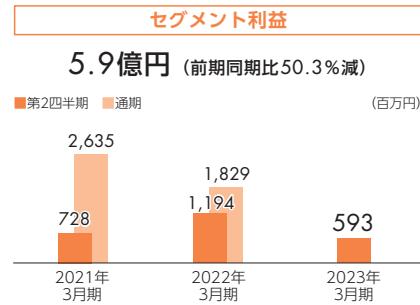
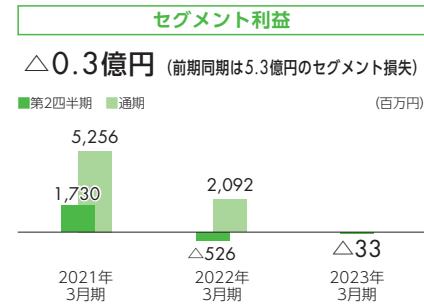
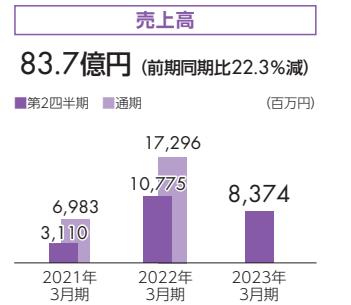
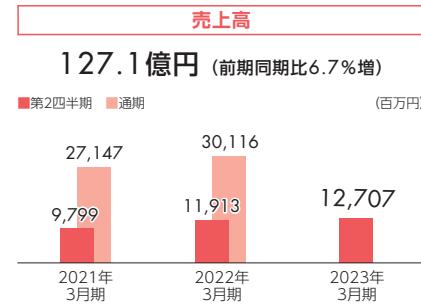
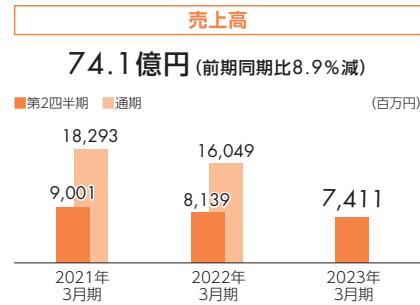
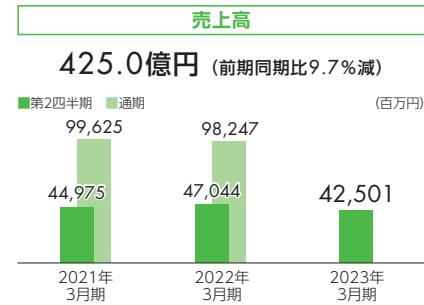
呉服関連事業

- 和装店舗 (BANKANわものや・さが美・東京ますいわ屋)
- 大学生の卒業式袴レンタル (マイム)
- ホテル事業
- 太陽光発電事業



プロパティ事業

- 不動産事業 (オフィスビルなどの賃貸・開発・販売)
- ホテル事業
- 太陽光発電事業



通販においては新型コロナウイルス感染拡大の影響が一巡し、既存顧客のレスポンスの鈍化傾向が継続する一方で、アパレル店舗においては新型コロナウイルス感染拡大の影響が弱まり、来店顧客数が回復傾向となりました。この結果、売上高は425.0億円(同9.7%減)となり、セグメント損失は0.3億円(前年同期は5.3億円のセグメント損失)となりました。

台湾における新型コロナウイルス感染拡大の影響による苦戦及び国内におけるネット広告規制による新規顧客獲得の苦戦により、減収となりました。健康食品通販事業においては、新規顧客獲得を強化した一方で既存顧客の売上が減少し、減収となりました。この結果、売上高は74.1億円(同8.9%減)となり、セグメント利益は5.9億円(同50.3%減)となりました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響が一巡し、既存顧客のレスポンスの鈍化傾向が継続する一方で、食品事業においてネット広告等による新規顧客獲得を強化し、広告宣伝費が増加しました。この結果、売上高は127.1億円(同6.7%増)となり、セグメント利益は2.2億円(同59.3%減)となりました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響が一巡し、前年同期に特需のあったマスクやパルスオキシメーター等の医療雑貨・消耗品需要が縮小しました。この結果、売上高は75.9億円(同13.4%減)となり、セグメント利益は1.7億円(同77.4%減)となりました。

封入・同送サービスにおいてはアパレル・雑貨事業における成長鈍化の影響により減収となり、ファイナンス事業においては広告宣伝費が増加しました。この結果、売上高は74.8億円(同0.9%減)となり、セグメント利益は28.4億円(同1.6%減)となりました。

さが美、(株)東京ますいわ屋における構造改革が浸透し収益力が向上した一方で、衣裳レンタル事業における受注経費が増加しました。この結果、売上高は111.4億円(同9.3%増)となり、セグメント損失は1.4億円(前年同期は8.3億円のセグメント損失)となりました。

ホテル事業は大幅な増収増益となったものの、海外不動産における売却の遅れ、前年同期の海外不動産売却によって大幅な減収減益影響が出ております。この結果、売上高は83.7億円(同22.3%減)となり、セグメント利益は3.7億円(同61.8%減)となりました。

## DM発送代行事業、国内物流受託事業等を展開する「レーベルグループ」子会社化に関するお知らせ

当社は2022年8月22日付で、DM発送代行事業、国内物流受託事業等を展開する株式会社レーベル、株式会社レーベルロジスティクス、株式会社R&Mの全株式を取得し子会社化いたしました。

レーベルグループは、クライアントのニーズに対応した柔軟な運用とローコストオペレーションを両立することで競争優位性を実現している企業です。

レーベルグループを取得することで、当該会社のさらなる事業拡大を期待するとともに、ソリューション事業（広告販売・物流受託）との連携を通じて、当社グループとしても企業価値を高めるに資すると期待しています。



株式会社レーベル

- DM発送代行業務
- 宛名ラベル作成
- 2021年8月売上高 795百万円



株式会社レーベルロジスティクス

- 国内物流業務代行
- 2021年8月売上高 1700百万円



株式会社R&M

- インターネット販売業
- 2021年8月売上高 24百万円

### 取得株式数及び取得前後の所有株式の状況

異動前の所有株式数 0株（議決権所有割合：0%）

取得株式数 300株

異動後の所有株式数 300株（議決権所有割合：100%）

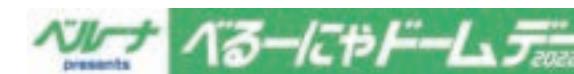
### 日程

株式譲渡実行日 2022年8月22日

## ベルーナ公式キャラクター「べるーにゃ」がベルーナドームをジャック！ 9月10日（土）に「べるーにゃドームデー」を開催

埼玉西武ライオンズとコラボしたぬいぐるみやフラッグなどのグッズ展開を始め、SNSでも精力的に埼玉西武ライオンズの応援を続けている、ベルーナ公式キャラクター「べるーにゃ」。2022年9月10日（土）には、1日限定で、べるーにゃが至るところに登場して埼玉西武ライオンズを全力で応援する「べるーにゃドームデー」を開催いたしました。

当日は、試合のインニング間のイベントにべるーにゃが登場し、応援隊とともに埼玉西武ライオンズを盛り上げました。また源田選手サイン色紙&ライオンズ×べるーにゃぬいぐるみが抽選で当たるラッキーチャンスナンバーも実施。さらに、新発売となるライオンズクラシック2022とコラボのグッズラインナップを公開しました。



公式キャラクター「べるーにゃ」



## SDGsフェスティバル「GOOD LIFE フェア 2022」に 通販ブランド「BELLUNA」「Ranan」が出展！

当社が展開する大人の女性向け通販ブランド「BELLUNA」と「Ranan」は、2022年9月23日（金・祝）～25日（日）の3日間、東京ビッグサイトにて開催された「GOOD LIFE フェア 2022」に出展しました。

今回初開催となった「GOOD LIFE フェア」は、様々な企業や団体が集結して各ブースを出展するほか、体験コーナー・ステージ企画・食フェスなど、消費者向けのSDGs関連イベントとして国内最大級のフェスティバルです。

出展した「BELLUNA」と「Ranan」では、綿の裁断くずや落ちわたを集めて作った糸を使用した「リサイクルコットン」や、木の实から採取する植物繊維「カポック」など、豊富なサステナブル素材を使用した商品を展開し、ファッションを通じて持続可能な社会の実現をご提案しました。



GOOD LIFE フェア 2022

# 株主の皆様へ、日頃の感謝の気持ちを込めて 株主優待制度の内容を拡充いたしました

当社では 株主の皆様からの日頃のご支援に対する感謝の気持ちを込めまして、株主優待制度の内容を拡充いたしました。従来からご用意していた ①「優待割引券、優待クーポン」または「自社取扱商品」に加え、今回より新たに ②「ベルーナグループが運営及び提携するホテル、飲食店、小幡郷ゴルフ倶楽部で使用できる優待割引券」をご用意させていただきました。内容やご利用方法をご確認の上、ぜひご利用いただければ幸いです。今後とも、変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 株主優待内容

### ①「優待割引券、優待クーポン」または「自社取扱商品」から選択

① 当社運営の通信販売で使用できる優待割引券



② ベルーナネットで利用できる優待クーポン



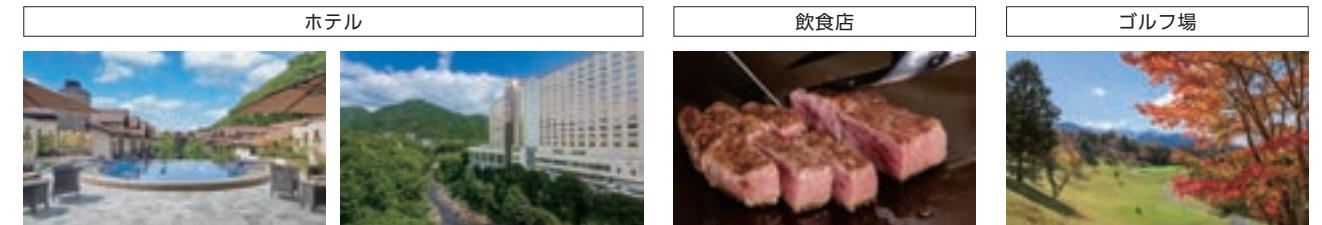
③ 自社取扱の食品またはワインまたは日本酒



※お届け時期については株主様ご優待券をご参照ください

保有株式数	優待の内容 優待割引券、優待クーポンまたは自社取扱商品から選択
100株以上500株未満	① 1,000円分の通信販売優待割引券 ② 1,000円分のネット専用優待クーポン ③ 1,000円相当の自社取扱の食品またはワインまたは日本酒
500株以上1,000株未満	① 3,000円分の通信販売優待割引券 ② 3,000円分のネット専用優待クーポン ③ 3,000円相当の自社取扱の食品またはワインまたは日本酒
1,000株以上	① 5,000円分の通信販売優待割引券 ② 5,000円分のネット専用優待クーポン ③ 5,000円相当の自社取扱の食品またはワインまたは日本酒

### ②「ベルーナグループが運営及び提携する国内全ホテル、飲食店、小幡郷ゴルフ倶楽部で使用できる優待割引券」から選択



ルグラン軽井沢ホテル&リゾート      定山溪ビューホテル      銀座のステーキ      小幡郷ゴルフ倶楽部

- ・定山溪ビューホテル (北海道)
- ・札幌グランベルホテル (北海道)
- ・すすきのグランベルホテル (北海道)
- ・山の神温泉優香苑 ※ (岩手)
- ・裏磐梯レイクリゾート (福島)
- ・ルグラン旧軽井沢 (長野)
- ・ルグラン軽井沢ホテル&リゾート (長野)
- ・那須塩原ステーションホテル ※ (栃木)
- ・渋谷グランベルホテル ※ (東京)
- ・赤坂グランベルホテル ※ (東京)
- ・新宿グランベルホテル ※ (東京)
- ・恵比寿ホリックホテル ※ (東京)
- ・目黒ホリックホテル ※ (東京)
- ・赤羽ホリックホテル ※ (東京)
- ・京都グランベルホテル (京都)
- ・京都グランベルホテルhanareya (京都)
- ・大阪グランベルホテル (大阪)
- ・梅田ホリックホテル (大阪)
- ・ホテル浜比嘉島リゾート (沖縄)
- ※関係会社運営
- ・銀座のステーキ 銀座本店 (東京)
- ・銀座のステーキ 銀座中央店 (東京)
- ・銀座のステーキ 渋谷店 (東京)
- ・銀座の蕎麦屋 (東京)
- ・銀座焼肉 にく崎 (東京)
- ・小幡郷ゴルフ倶楽部 (群馬)

保有株式数	優待の内容
100株以上500株未満	券面額 1,000円の割引券 2枚
500株以上1,000株未満	券面額 1,000円の割引券 6枚
1,000株以上	券面額 1,000円の割引券 10枚

※優待割引券を同時使用する場合、上限は2枚までとなります。  
※ご利用は現地決済に限ります。

### 発送時期・有効期限

	発送時期	有効期限
期末	6月下旬	7月1日～12月31日
中間	12月上旬	12月1日～6月30日

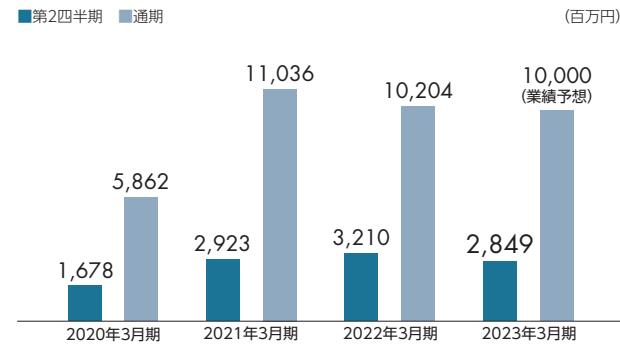
### 対象となる株主様

毎年3月末及び9月末の株主名簿に記載または記録された当社株式100株 (1単元) 以上保有の株主様

売上高



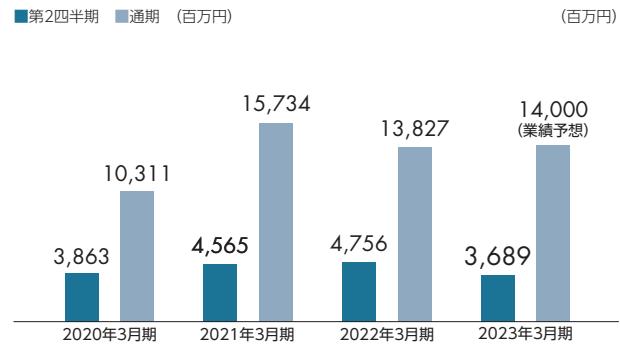
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



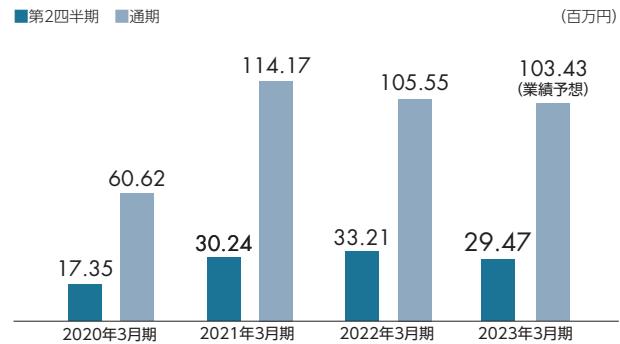
総資産・純資産



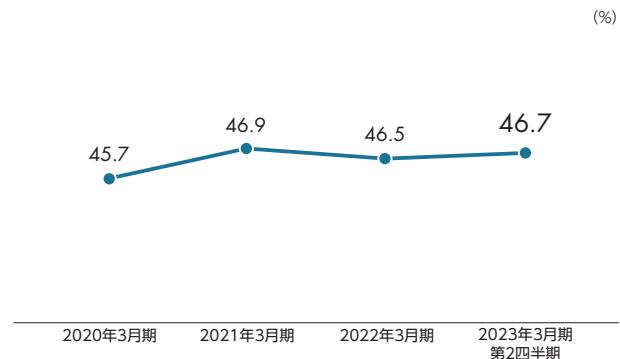
営業利益



1株当たり四半期(当期)純利益



自己資本比率



連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 2022年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間 2022年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	118,133	120,267
固定資産	136,045	140,544
有形固定資産	103,342	107,182
無形固定資産	10,278	10,778
投資その他の資産	22,424	22,583
<b>1 資産合計</b>	<b>254,178</b>	<b>260,812</b>
<b>負債・純資産の部</b>		
流動負債	64,904	59,609
固定負債	70,229	78,549
<b>2 負債合計</b>	<b>135,134</b>	<b>138,158</b>
株主資本	124,228	126,164
資本金	10,612	10,612
資本剰余金	10,951	10,951
利益剰余金	103,131	105,063
自己株式	△467	△462
その他の包括利益累計額	△5,959	△4,339
非支配株主持分	775	828
純資産合計	119,044	122,653
負債純資産合計	254,178	260,812

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

POINT

1 資産合計

前期末に比べ6,633百万円増加しました。これは主に、流動資産において商品及び製品が増加したこと、固定資産において建物及び構築物が増加したことによるものです。

2 負債合計

前期末に比べ3,024百万円増加しました。これは主に、流動負債において短期借入金、未払費用が減少した一方で、流動負債における契約負債、固定負債における長期借入金が増加したことによるものです。

3 売上高

アパレル・雑貨事業は、広告宣伝費を抑制し、収益性確保を優先したことで減収。プロパティ事業は、ホテルにおいては稼働率向上により大幅な増収となったが、前年同時期には海外不動産の売却があった影響で減収となった。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2021年4月1日～ 2021年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2022年4月1日～ 2022年9月30日
<b>3 売上高</b>	105,808	98,779
売上総利益	61,419	59,202
販売費及び一般管理費	56,663	55,513
<b>4 営業利益</b>	4,756	3,689
営業外収益	948	1,473
営業外費用	605	491
経常利益	5,100	4,671
特別利益	66	2
特別損失	41	99
税金等調整前四半期純利益	5,125	4,574
法人税、住民税及び事業税	1,806	1,731
法人税等調整額	106	△16
四半期純利益	3,212	2,859
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,210	2,849

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2021年4月1日～ 2021年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2022年4月1日～ 2022年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,658	2,354
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,204	△4,559
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,214	1,543
現金及び現金同等物に係る換算差額	100	601
現金及び現金同等物の増減額	△3,230	△60
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,728	29,509

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

詳細な財務情報は、当社Webサイト「株主・投資家情報」をご覧ください。

■ 会社概要

会社名	株式会社ベルーナ (Belluna Co., Ltd.)		
資本金	106億12百万円		
創設	1968年9月		
設立	1977年6月		
従業員数	3,743名 (連結)		
事業内容	カタログ、ネット等による通信販売を核に、実店舗、受託、金融、プロパティ、卸売等の分野で展開する通信販売総合商社		

■ 役員

代表取締役社長	安野 清	社外取締役 (監査等委員)	渡部 行光
取締役	安野 雄一郎	社外取締役 (監査等委員)	山縣 秀樹
取締役	穴戸 順子	社外取締役 (監査等委員)	浜本 淳子
取締役	松田 智博		
取締役	宮下 正義		

■ 主な事業所

本社	(埼玉県上尾市)
本館	(埼玉県上尾市)
東京本部	(東京都中央区)
アネックスビル・第2アネックスビル	(埼玉県上尾市)
北関東支店	(埼玉県鴻巣市)
川越オーダーレセプションセンター	(埼玉県川越市)
春日部オーダーレセプションセンター	(埼玉県春日部市)
吉見ロジスティクスセンター	(埼玉県吉見町)
領家丸山流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
領家山下流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
宇都宮流通システムセンター	(栃木県鹿沼市)
大宮オーダーレセプションセンター	(埼玉県大宮区)
A-GEOタウン	(埼玉県上尾市)
アリコベルオオフィス	(埼玉県上尾市)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数	97,244,472株
株主数 (除く自己名義)	24,816名

■ 大株主

	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社フレンドステージアセットマネジメント	41,383	42.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	7,400	7.6
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	5,835	6.0
安野 清	2,916	3.0
安野 公	2,914	3.0
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	2,834	2.9
株式会社三井住友銀行	2,246	2.3
野村信託銀行株式会社 (退職給付信託三菱UFJ銀行口)	1,968	2.0
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	1,546	1.5
ベルーナ共栄会	1,535	1.5

\* 持株比率は自己株式 (554,132株) を控除して計算しています。

■ 所有者別株式分布状況

金融機関	個人投資家	事業会社	外国人
19.9%	20.6%	44.1%	15.4%

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領	期末配当金 3月31日
株主確定日	中間配当金 9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	3月31日
株式の売買単位	100株
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。 公告掲載 URL <a href="https://www.belluna.co.jp/irinfo/stock/announcement/">https://www.belluna.co.jp/irinfo/stock/announcement/</a>

株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
及び	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問合せ先	TEL 0120-288-324 (フリーダイヤル)
上場金融商品取引所	東京証券取引所プライム市場